

40階ビルが建設されるミラノ跡地



“五輪後”に続く歌舞伎町開発

新宿歌舞伎町では15年春に開業した30階東宝ビルに続く再開発事業として東急ミラノ跡地の開発が注目されている。その跡地計画は40階建てのホテル・エンタメ・店舗の複合施設となる。18年度より工事に着手、五輪後の22年度の完成をめざす。都市再生特別区域による容積率緩和により、高さは東宝ビルの140を上回る225を規模を予定。さらに歌舞伎町のみならず新宿全体の集客をめざし、地下部分には最大1,500人を収容できるライブハウス、中層階には約850席の劇場と約8スクリーンの映画館からなる複合エンタメ施設を整備。また大型観光バスが停留できるバスの乗降場も1階部分に整備される。

訪日客獲得にエンタメ文化

東急グループ 850席の劇場、1,500人のライブ

再開されるのは東急 館、今年7月からエンタメ施設の「VR ZONE」(延べ床面積約8万5千8百平方メートル)が、ホテル・エンタメ施設・店舗からエリアが広がる。新館は多くは「宿泊型」である。19年度からの工事着手を予定している。東急グループが再開する。東急グループが再開する。東急グループが再開する。

40階ホテルとライブ劇場

22年度に完成・大型観光バスの乗降場も

歌舞伎町(ミラノ跡地)



容積率緩和で高さ225に

来夏に国家戦略特区の認定

ミラノ跡地は国家戦略特別区域制度の指定。別地区による容積率緩和(来年7月頃の認定)を受け、都市計画手続の迅速化を

特別地区に。容積率は900%。これにより、東宝ビルは行政府を必要とする。時代は、この潮流を見据え、詳細はこれから詰めていく。また、映画館は、新宿では大型のシネコンがすでに

2面へ続く

シネコンが増える。新宿4館目で競争激化。エンタメ施設は、ミラノの運営を長年務めてきた東急レクリエーションが行うことになる。時代は、この潮流を見据え、詳細はこれから詰めていく。また、映画館は、新宿では大型のシネコンがすでに



完成予想図

りを経由する空港連絡バスルートを活用し団体客を含めた訪日客の取り込みを図る。さらに1・2階は西武新宿駅前通りとシネシティ広場を自由に往来できるラウンジとすることで回遊性を高める。上層の13階・40階はホテルで13・40階にはレストランを設ける計画だ。

老朽マンションの建替え促進

住居マラタリを改訂へ。渋谷区では比較的古くから土地の高層利用が進み昭和56年以前の旧耐震基準により建設されたマンションが多数あるとされており、また居住者の高齢化が著しく、住居意識は高まる傾向にあります。本区ではマンション建替え促進法による建替え促進など一定の成果を上げてきました。今後は老朽度の調査・診断に対する補助、建替え計画の作成への支援、マンション管理の専門家派遣等の対策を検討します。昨今の社会情勢を踏まえ住居マラタリ改訂を進めてまいります。



管理組合への支援検討。新宿区は「マンション管理促進条例」を平成25年に都内で初めて施行し、マンションの管理状況に応じた情報提供や専門家の派遣等の支援を実施してまいりました。



都内初の管理促進条例。豊島区は「マンション管理促進条例」を平成25年に都内で初めて施行し、マンションの管理状況に応じた情報提供や専門家の派遣等の支援を実施してまいりました。



都内初の管理促進条例。豊島区は「マンション管理促進条例」を平成25年に都内で初めて施行し、マンションの管理状況に応じた情報提供や専門家の派遣等の支援を実施してまいりました。